

## 1. 調査報告概要表

作成日 2009年11月20日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3472501513
法人名	社会福祉法人成寿会
事業所名	グループホーム田口
所在地	広島県東広島市西条町田口東子2729-1 (電話) (082)425-5757
評価機関名	特定非営利法人医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4-46-9
訪問調査日	平成21年11月13日

## 【情報提供票より】(21年10月1日事業所記入)

## (1)組織概要

開設年月日	平成17年8月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤	12 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 4.8

## (2)建物概要

建物構造	併設型 鉄骨ALC造り 3階建ての 2階 ~ 3階部分
------	--------------------------------

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	54,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有( )	無( )		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	500 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

## (4)利用者の概要(11月13日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	4 名	要介護2	8 名		
要介護3	3 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 83.1 歳	最低	58 歳	最高	96 歳

## (5)協力医療機関

協力医療機関名	下山記念クリニック、西条中央病院、宗近歯科医院、中前外科
---------	------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業母体は法人格で3階建ての建物で1階はデイサービスセンター、2階、3階がグループホームである。バス停が近くにあり医療機関、大型ショッピングセンター、スーパーも近く利便性はよく、建物は広くゆったりとして、どの部屋からも田園風景を眺めることができる。玄関には入居者の手芸の小物が置かれ、理念が掲げてあり、家庭的な雰囲気の中でその人らしく安心した生活が送れるよう管理者、職員は共有し入居者、家族、職員の信頼関係を保ち、常に声かけ、会話の支援が見られ入居者の穏やかな顔がありました。外出支援は積極的にされ、ミニ旅行や、四季折々の散策は入居者本位に支援がされている。今後もこの質の高いケアサービスに取り組みられることを期待します

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	日々の実践内容をどのように取組んだらよいか見直す機会になり、目標も個人と全体が一体になり取り組まれている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 職員全員が理解し改善すべきところは全員で話し合い、会議の中で確認しあう取組みがされている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議には家族、民生委員、市役所職員、グループホームの職員が出席し、グループホームの行事計画、行事報告、事故報告は詳細に話されて参加者の意見を聞きサービスの向上に生かされている。回を重ねるたびに内容が充実されている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) アンケートに見られるように職員は家族の話をよく聞かれており、面会時の要望、意見を運営改善につなげられている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 散歩、買い物の際の挨拶、保育園、小学生の来園は入居者の楽しみであり、地域のいのこ祭り、秋祭りなどに参加されている。今後もできる限り地域との交流を深め積極的に取り組まれることを期待します。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	田口の理念を何時でも見えるところに掲げ常に確認し全員が共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の実践に向け、それぞれが近づけるよう日々取り組まれている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	日常的には隣近所の方と散歩の時、行事に参加した時など挨拶をし交流がされる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員は理解し、改善すべきところは話し合い取り組みができています。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の際の意見などを参考に改善やホームの向上に生かし、前進できるよう取り組まれている。		

グループホーム田口

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議には市役所の職員が参加され話し合いの場は設けられている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居者の日ごろの様子を電話で話し、面会の際には意見や要望は必ず受け止め、改善につなげるようにされている。毎月法人の発行する(成寿会)新聞を家族的に送られる。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時には話を聞き要望などあればその都度対応される。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は少ない		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修は一ヶ月に一回あり職員は参加できるように機会を設けられている。、他の研修になるべく参加されるよう取り組まれている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者が少なく交流はされていない。法人内での交流はあり学ぶ機会もたれている。		県内の研修に参加された際、他の同業者と学ぶ機会をもたれることを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族の協力を得ながらホームの雰囲気に慣れてもらえるように訪問など工夫されている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者、職員は家族のような関係を持ち会話の中で思いをうけとめ、支えられている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の生活歴などを家族から聞き、できることなど参考に入居者の立場になった支援がされる。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者、家族の要望を聞き思いを把握し、日々穏やかに過ごせるよう計画を作成される。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>日々の状況を把握し変化があれば医師、看護師の意見を聞き対応される。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者、家族の要望があればその方に合った場所に行かれるよう、法人の中で柔軟な対応をされている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者、家族の希望に添えるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	日々の入居者の状況、今後について変化が生じたときには家族の要望を聞き、医師からの説明を聞き今後の方針を話し合い、できることを医療機関とともに支援される体制をとられる。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者との会話はやさしく丁寧に話されている。プライバシーに配慮された対応がみられた。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の一人ひとりの状態を考慮し希望に添えるよう支援される。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材を献立に入れ季節感を味わってもらったり、料理と一緒に作ったりして準備、片付けなどを手伝われている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	何時でも入浴できるよう希望される時間に入れるよう支援されている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの性格や習慣など見極め家族から生活歴の情報を聞きその人らしい生活が送れるよう支援されている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	個々の体調をみながら買い物、散歩、ドライブに戸外に出かける機会を多くされ、外出支援ができています。		四季折々に外出され、ミニ旅行なども計画され外出支援は入居者本位に支援されている。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関には可愛い手芸品が置かれ和風な白木戸は温かみを感じる場所でした。鍵をかけることの弊害は理解されているが鍵はかけられている。		入居者の方が落ち着く環境を提供され鍵をかけない見守り支援を期待します
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	2ヶ月に一回避難訓練をされている。定期的に消防署の方が来られて火災訓練、非難誘導の指導を受けられる。実際に災害を想定して手順を唱和されている。		スプリンクラーは準備中

グループホーム田口

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立でバランスのとれた食事、水分量(1,000cc)の摂取その日の状態に合わせ、お粥、刻み食、超みじん食、ミキサー食がつけられ記録されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日中ほとんど、食堂、リビングで過ごされている方が多く椅子やソファでゆったりとした時を過ごされている。窓は大きく日差しが入り、音楽が流され、台所からは食事の準備の音や、においがして生活感が感じられる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居される時家庭で使われていた家具や生活用品を持ち込まれ、安心して過ごせるよう工夫されている。		